2026 年 10 月 7 日（水）
首都圏新都市鉄道株式会社

～連携の力で守る、お客様の安全～

『2026年度 異常時総合訓練』のお知らせ

つくばエクスプレス（TX）を運営する首都圏新都市鉄道株式会社（代表取締役社長 渡邊 良、本社：東京都千代田区）は、2026 年 10 月 16 日（金）、つくばエクスプレス総合基地（茨城県つくばみらい市筒戸 3500）において、「異常時総合訓練」を実施いたします。

本訓練は、TX の安全への取り組みの一環として、事故発生時における連絡通報体制の確認、負傷者の救護、旅客の避難誘導および復旧対応能力の向上を図るとともに、各部署間の連携強化を目的として実施するものです。

本年度は、当社沿線において震度 6 強の地震が発生し、列車の脱線や架線・線路設備等の損傷により乗客に負傷者が発生したことを想定し、消防・警察関係機関と連携した訓練を実施します。また、近年発生が増加しているモバイルバッテリーの発火を想定した対応訓練も併せて実施します。

なお、本年度の訓練は、一般のお客さまの参加および見学はございません。

詳細は別紙のとおりです。



2025 年度異常時総合訓練の様子

別 紙

『2026年度 異常時総合訓練』の概要について

1. 実施日時：2026 年 10 月 16 日（金） 13：00～15：30 頃
※雨天時決行（荒天時中止）
2. 実施場所：つくばエクスプレス総合基地（茨城県つくばみらい市筒戸 3500）
※TX 守谷駅より徒歩約 20 分
3. 内 容
（1）目　　的：事故発生時における連絡通報体制の確認、負傷者の救護、旅客の避難誘導等および復旧の能力を高めるとともに、各部署間の連携を習熟する。
（2）訓練想定：当社沿線にて震度 6 強の地震が発生、守谷～みらい平駅間を走行中の列車が緊急地震速報を受信し、非常制動により停止をしたものの、地震動により 1 号車第 1 台車全 2 軸が脱線、架線および線路等が損傷し、乗客 11 名が負傷した。また、車内では旅客が所持するモバイルバッテリーが落下した衝撃で発火した。
（3）被害状況：① 列車の 1 号車第 1 台車（2 軸）が脱線
② 架線故障
③ 線路損傷
④ 乗客約数十名中、耳の不自由な旅客 1 名、目の不自由な旅客 1 名、
負傷者 11 名（重症者 1 名、中等症者 1 名、軽症者 9 名）
（4）訓練概要：① 列車防護・通報連絡（消防・警察機関を含む）
② 救出・避難誘導
※現場に到着した技術部先発隊の協力のもと、非常貫通扉および車両ドアからの旅客避難誘導を併せて実施。（複数箇所からの避難誘導）
③ 支障物撤去・車両脱線復旧・線路復旧・軌陸車を使用した架線復旧
④ 臨時速度情報地上子および臨時信号機設置
⑤ 応急手当（AED 心肺蘇生・三角巾による止血等）
※今年度は、新たな取り組みとして車内でモバイルバッテリーからの発火を想定した訓練を消防関係機関と協力して行います。
4. 参加人員：予定総数 約 230 名
（1）訓練参加者：約 150 名（当社社員約 100 名、消防・警察関係者約 50 名 ）
（2）関係見学者：約 60 名（当社社員、消防・警察関係者など ）
【消防・警察関係】常総広域消防本部・常総警察署・取手警察署

以 上